

## 課題NO.1

# 農村の維持発展を支える法人経営の体質強化

活動期間：令和3年度～令和5年度

対象者：農事組合法人あきう生産組合(役員8人)

チーム員：安達裕美、宍戸修、永田悦祈、八木沼湧太

# 1 課題の背景・ねらい

## (1) 背景

- 設立：平成28年にJA出資型法人として設立（前身：秋保転作組合）
- 構成員：22人(理事7人、監事1人)
- 経営規模：水稲12ha、大豆50ha、そば25ha
- 排水不良地や土壌タイプの異なるほ場が多く、**水稲・大豆・そばの収量は総じて低い。**
- 大豆を中心に**鳥獣害が多発**し、収量に影響を及ぼしている。
- **構成員が高齢化**しており、**若い従業員の雇用を計画**しているが、優秀な人材を確保するため、魅力ある**労働環境の整備**が必要である。



## (2)ねらい

- 水稲、大豆、そばの生産技術が向上し、地域農業の持続的な受け皿として安定的な経営が行われる。
- 新規園芸品目が定着し、農地及び労働力が効率的に活用される。
- 労務管理基盤が整備されることで人材確保に向けた積極的な活動が行われるようになる。

●数値目標： 農産物売上高増加率      R 1 :基準年    0

R 3 : 3 % 増    →    R 4 : 5 % 増    →    R 5 : 8 % 増

## 2 活動内容

### (1) 水稲、大豆、そばの安定生産技術支援

- ・ 随時生育状況について情報提供、適期適作作業について助言
- ・ ほ場条件に応じた窒素成分の異なる基肥肥料の使い分けによるコスト低減の提案と有効性の確認（大豆）
- ・ 収量増に向けた播種量・碎土率の検討（大豆）
- ・ 品目ごとの経営決算分析の検討

## 2 活動内容

### (2)新規園芸品目の導入及び栽培技術支援



そらまめ  
(R3年～R5年)



ブロッコリー  
(R4年～R5年)



いちじく  
(R4年～R5年)

## 2 活動内容

### (3) 労務管理基盤の整備支援

- ・ 雇用管理に関する勉強会・先進法人視察
- ・ 今後法人の労働力がどのように変化するか、アンケート調査の実施
- ・ 労働力確保に向けた地域への働きかけ支援
- ・ 規模算定、労働量・労働力の変化、施設運営経費など、各種シミュレーション
- ・ 冬季の作業確保と効率化のため施設導入に向けた補助事業の活用支援



## 3

## 活動成果

作付面積・収量比較

		R3	R4	R5
水稲	面積(ha)	11.3	6.8	10.8
	反収(kg/10a)	392	457	436
大豆	面積(ha)	50.4	52.4	48
	反収(kg/10a)	107	92	101
そば	面積(ha)	22.0	22.8	29
	反収(kg/10a)	49	42	38
そらまめ	面積(ha)	0.15	0.15	0.15
	反収(kg/10a)	328	416	667
ブロッコリー	面積(ha)	—	0.15	0.15
	反収(kg/10a)	—	333	1,000
いちじく	面積(ha)	—	0.18	0.18
	反収(kg/10a)	—	—	—

- ・施肥設計によるコスト低減や、大豆の播種量・碎土率の違いによる生産面への効果に対する理解が深まった
- ・法人として新規園芸品目を計画的に導入し、技術が定着
- ・法人の今後の労働力の変化を調査し、新たな構成員確保に向けた地域への働きかけにより新たな構成員2名を確保
- ・乾燥調製施設の必要性を認識

# 3 活動成果

## 【定量的目標】

目標値：農産物売上高増加率（R1基準年 0）

R3：3%増 → R4：5%増 → R5：8%増

実績 **R3：9.4%増 → R4：17.8%増 → R5：19.4%増（暫定値）**

農産物売上高増加率

(千円)

普及計画年度	現状：R1	R3	R4	R5（暫定値）
水稲売上高	10,695	6,656	6,348	8,741
大豆売上高	4,920	7,528	7,451	6,895
そば売上高(玄そば)	2,050	1,826	3,394	2,093
野菜売上高	-	138	781	809
商品売上高(乾麺等)	764	4,423	4,162	3,869
加工品売上高(そば粉)	2,875	2,731	2,963	3,032
農産物売上高合計	21,303	23,302	25,099	25,439
農産物売上高増加率	100%	109.4%	117.8%	119.4%

## 【支援対象者コメント】

地域の今後を考え、乾燥調製施設導入のために補助事業を活用したい。補助事業がなくても導入したいが、いずれにしても組織として一層収益の向上を図る必要がある。技術・経営の両面で支援願いたい。